



海田小学校

本校では「自ら学び自ら育つ」を合言葉に、児童の輝きを引き出す教育活動を続けています。

ホームページを見てラジオ局やテレビ局から取材の申し込みがあり、今回はその時の取材内容を中心に紹介します。



外国語活動

「アイル スタディ ハード」(ぼくはこれからも一生懸命頑張ります)(5年生の作文) 朝15分間のモジュール学習では、授業で扱った表現や一口英語の反復練習に取り組ん

でいます。また、授業では相手の話に反応してやりとりを繰り返すことで外国語に親しんでいます。子どもたちが英語で言葉のキャッチボールができるように、授業研究を積極的に行い、参観日には保護者にも参加していただくなど、話す喜びを味わうようにしています。



輝き見つけ

「男女の仲がよく、困ったときも良いところを出し合って助け合うことができます」(6年生の作文)

海田小には「輝き発見部屋」という教室があり、子ども同士が行事や授業、生活の中で見つけた互いの良さを輝きファイルとして紹介し合っています。

相手を認め、良いところを発見することで自分が成長できると感じ、色々なことに挑戦しています。この活動のシンボルとして、海田小の



キャラクター「できるくんとやれるちゃん」がいます。このキャラクターが新聞社の目に留まり、取材を受けるきっかけになりました。現在、賞状や案内用として幅広く校内外で活躍しています。



立ち止まってみよう

「気持ちが明るくなるのであいさつが大好きです」(6年生の作文)

あいさつ日本一を目指していますが、今年度は「立ち止まってあいさつする」ことを大切にしています。立ち止まることは相手へ敬意を払うことでもあります。

地域の皆さんも、毎朝、門のところで子ども一人一人にお辞儀をして、温かい声をかけてくださいます。

ラジオでは学校自慢、町自慢が放送され、新聞ではよいところ見つけの取り組みが紹介されました。地域の方を始め、多くの人に海田小学校を知っていただくチャンスを得ることができました。

